

## ～女性専用スペースの設置・活動～

【ビッグパレットふくしま】調査日：2011年8月11日

東京電力福島第一原子力発電所から60km弱に位置するビッグパレットふくしまに、警戒準備区域の富岡町や川内村から避難者がたどり着いたのは、3月16日、2回目の爆発から2日経った夜のことである。富岡町と川内村は、東京電力福島第一原子力発電所から半径20kmから30km圏内の屋内避難指示区域に当たることから、住民は全町・全村的に圏外へ避難することとなった。福島県が郡山市に設置した複合コンベンション施設であるビッグパレットふくしまは福島第一原子力発電所事故後、一時は2,500人を収容する県内最大の避難所となった。

インタビュー対応者は、福島県企画調整部文化スポーツ局生涯学習課天野和彦社会教育主事。

### 避難者到着時の状況

郡山市では震度6弱の揺れによって市内各所で被害が発生していた。ビッグパレットふくしま（以下、ビッグパレット）も天井の一部が壊れ落ち、ダクトがはずれ、パイプが落下して机を貫通するなどし、避難所として使えるスペースは限られていた。

ビッグパレットは危険度B判定で、本来であれば立入が制限されるべき建物である。



天井の一部が壊れ落ちたビッグパレット

3月16日夜半に避難者が到着した際に、災害時要援護者への配慮を行う余裕は指定管理者である公益財団法人福島県産業振興センターの職員にも、富岡町、川内村の町村役場職員にもなかった。要介護者がエレベーターもエスカレーターも止まった建物の2階、3階に入らざるをえなかったり、通路にも人が横になっていて歩くこともままならない状況だった。トイレの前にも避難者が場所取りしているため、衛生状態が悪化してノロウイルスなどによる急性感染性胃腸炎が発生する原因となった。こうした状況を改善するため、4月に入り県庁は避難所運営支援チームの派遣を決めた。天野社教主事は、同チームの唯一の常勤者（その後、常勤者2人体制となった）で、他の職員は数日で交替する体制だった。

**ビッグパレット避難所開設から1か月の状況** .....

天野社教主事が赴任した4月11日時点においても、ビッグパレット内の混乱は続いていた。住民ケアの最前線を担う町村役場職員自身も被災者である。組織的な役場機能はいまだ復活せず、職員は住民の安否確認に追われていた。避難所運営については救護班、フロア班、物資班などに分かれて業務に当たっていたが、休みも満足にとれない勤務が続き疲労の色は濃く、避難経路図や入所者名簿も作成されていなかった。天野社教主事は各班に出向き、一番心配な事柄は何かを各班のリーダーから聞き取り、課題を整理していった。フロア班のリーダー

からは、着替え場所に困っているという女性の声を聞き取った。他の避難所では、目が覚めると女性の横に見知らぬ男性が寝ていたというトラブルも起きていた。ビッグパレットにおいても、中学生の男子生徒と小学校高学年の女子生徒がいつも一緒に歩いたり、プライバシーが守られる空間がない中で人目を避けもせずに性行為に及ぶ若者がいる状況が起きていた。わいせつ事件に発展しかねない事態への対策が迫られていた。



居住スペース

**女性専用スペース確保へ** .....

課題発見から対応まで時間はかからなかった。天野社教主事はビッグパレットの避難所としての運営支援について、責任者として権限を委ねられており、逐一本庁の判断を仰ぐ必要はなかった。フロア班からの聞き取りから2日間あまりで女性専用スペースに使う部屋を確保し、自身のネットワ

ークを活用して福島県男女共生センター（以下、共生センター）に協力を要請した。災害時こそ、男女共同参画施設は専門性を住民に還元すべきであると天野社教主事は強調する。要請を受けた共生センターの動きも素早かったことは、同センターについての聞き取り内容報告のとおりである。

### 避難者の自治活動の促進

天野社教主事は避難所を円滑に運営するために、1週間ごとの輪番制で班長と副班長が交代していく自治組織を立ち上げた。

また、避難所内に交流の場を作ることで、自治が生まれていった。ビッグパレットに3つできた喫茶コーナーは、避難者自身によって運営されている。場を作ることで、マスター、マスターの手伝いなど、避難者が自主的にチームに参加していく状況が生まれる。こうした状況を体系的に作り出し続ける組織として、富岡町と川内村の社会福祉協議会のボランティア・コーディネーターを中心に、生活支援ボランティアセンター「おだがいさまセンター」(以下、

おだがいさまセンター)が設立された。避難者は一方的な支援の受け手ではなく、支援の担い手ともなる。避難者の交流と自治を守り、コミュニティを再生する役割を果たすことが、おだがいさまセンターのミッションである。

ビッグパレット避難所は8月末をもって閉鎖される。しかし、被災地に仮設住宅を建てることができず、これからも不慣れた土地で暮らさざるをえない福島県の避難者にとって、コミュニティ再生は他県の避難者にも増して切実な課題であり続けている。



おだがいさまセンター掲示板

#### 【ビッグパレットふくしま 施設概要】

福島県が郡山市内に1998年に開設した地上4階、地下1階建て、延床面積23,258㎡の複合コンベンション施設。多目的展示ホール、コンベンションホール、会議室、研修室、プレゼンテーションルームなどを有する。公益財団法人福島県産業振興センターが指定管理者として管理運営に当たる。

URL <http://www.big-palette.jp/index.html>